

## 【目標達成計画】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 身体拘束以外にスピーチロックやドラック拘束についても研修を行ってはいるが、職員に浸透していないのが現状。少なくともはなったが、「待ってて」「座ってて」「ダメ」等の声はまだまだ聞こえてくる。	スピーチロック0を目指したい。	各フロアに「ダメはダメ！」と張り紙をし、常に意識をして貰う。職員同士で注意できる環境作り。まずはリーダーが気付き注意をして行く。阻止する言葉の代替えを考える研修も行う。	6ヶ月
2	34	○急変や事故発生時の備え 日々現場で起こる事故。転倒や誤薬について。この様な無くならない事故への意識が薄い。	転倒事故、その他の事故をなるべく減らし、薬の事故に関しては0にしたい。	危険予測トレーニングの研修を三か月に一度各フロア会議で行う。薬の事故に関しても事業所のマニュアルに沿って出来ているかを三か月に一度振り返りを行う。	9ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。